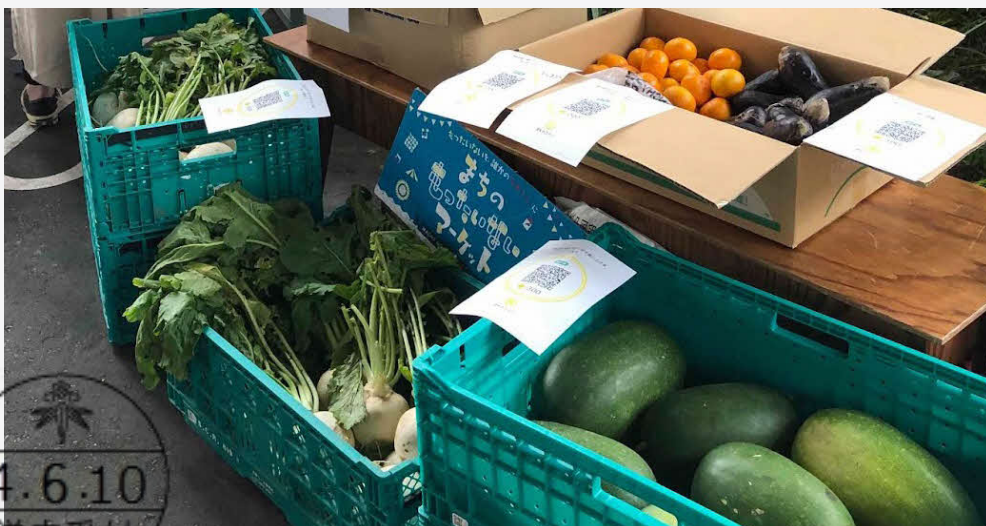


鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版



まちのもったいないマーケットに集まった地元鎌倉農家の規格外野菜

鎌倉市SDGsつながりポイントは鎌倉市で導入されている、人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの単位は「クルッポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人とつながりができた！という体験談などをお伝えします。

今回は、クルッポの使い道として代表的な「もったいない」についてご紹介します。実は、さまざまなクルッポの加盟スポットでは、そのスポットの「もったいない」ものをクルッポと交換することができるのです。

「もったいない」からはじまる、つながりの循環

たとえば、メーカーズシャツ鎌倉では、工場が出るシャツのはぎれをクルッポと交換することができます。上質なシャツの生地のはぎれは、お弁当包みとして使ったり、マスクなどにリメイクするのもおススメ。鎌倉ビール醸造では、モルト袋の空き袋をクルッポと交換することができます。クリーンアップの際のゴミ袋に変身させる方も。

フードロスの削減に貢献できる体験もあります。例えば、ワカミヤスタンド（惣INOU）では売れ残ったピタパンをクルッポと交換できたり、豊島屋菓子舗置石では、17時以降に当日消費期限の生ケーキを1000円以上購入すると、うち300円分は300クルッポと交換することができます。

「もったいない」だけを扱っている、「まちのもったいないマーケット」というスポットでは、自宅にあるもったいないものを持っていくと、クルッポと交換してもらうことができたり、誰かのもったいないものをクルッポと交換して、持ち帰ることができます。たとえば、不定期にgui flower designの撮影で利用した後のお花のブーケや、鎌倉の農家が出た規格外野菜をクルッポと交換できることも。さらにまちのもったいないマーケットは、さまざまなまちのイベントに出店していて、イベントでクルッポを使うことで、さまざまなもったいないものをゲットすることができますよ。

「もったいない」の循環を通して、これまで行くことのなかった新たなスポットを知ったり、地域の人たちとの交流の

きっかけにもなっているとか。魅力的な商品をゲットすると共に、身近なごみの問題やフードロスへの気づきもあるかもしれません。

ぜひ、あなたもお気に入りの「もったいない」を見つけてみてくださいね。

